

NPO 法人 CAP センター・JAPAN 理事会議事要旨	
会 議 名	2014 年度第 3 回理事会
日 時	2015 年 2 月 28 日 (土) 13:00～15:30
場 所	西宮市市民交流センター A会議室
参 加 者	理事 側垣 家本 江口 鷺見 長谷
欠 席 者	理事 島村 西澤 古野 監事 能島 森本
事 務 局	重松
議 案	1. 報告事項 (1) 事業部門報告 (2) 管理部門報告 (3) RTC 関連報告 2. 協議事項・審議事項 (1) 2015 年度事業計画案 (2) CAP スペシャリスト養成講座の了解事項改定について (3) 認証規格プロジェクト報告および次年度計画 3. その他 総会までのロードマップ
【報告事項】	
(1) 事業部門報告	<p>2014年度12月以降2月末までの事業について報告が行われた。第1事業では、「資格更新のための必須研修」を1回、「CAPスペシャリスト養成講座」を2回、出前講座を1回実施した。第2事業では、「子どもへの暴力防止のための基礎講座」を3回、「幼児期の子どもの生きる力を育む 子育て支援講座」を1回実施、昨年度同様「全国社会福祉協議会年報」への投稿を行った。</p> <p>第6事業では、他団体とのネットワークが進む中、協働事業が増えてきた。1月に誰もが参加しやすい活動をめざし団体名を変更した「体罰をみんなで考えるネットワーク」の設立記念シンポジウムに参画・実施した。阪神淡路大震災20年の節目に企画された「1.17から3.11へ 詩の朗読とメモリアルコンサート」の実行委員会団体として、当日スタッフを担当した。ベネッセコーポレーションの依頼により、チャレンジnet通信「危険から自分の身を守る 高学年からの安全・防犯! Q&A」掲載のためのインタビューを受け、記事原稿の確認を行った。西宮市ラジオさくらFM「NPO番組コーナー」に出演し、団体活動紹介を行った。</p> <p>各種委員会活動として、トレーニング委員会では、ベーシックトレーナー会議およびトレーナートレーニングを複数回実施した。ホームページリニューアルについては、4月の完成をめざしプロボノチームと複数回打ち合わせを実施した。社会指標づくりのための認証規格プロジェクトは12月と2月に2回実施した。体罰をみんなで考えるネットワークには、2015年度活動計画打ち合わせに参加した。関西子どもの権利条約フォーラムは、ネットワークを継続し、2015年度フォーラム開催と、国連・子ども権利委員会日本政府が提出する報告書の時期に合わせてNGOレポートを作成し提出するという取り組みも進めていく予定であり、そのための打ち合わせに参加した。</p> <p>READYFOR寄付プロジェクト事業のCD「ぼくの虹」が12月に完成した。頒布チラシも印刷し、次年度にかけて積極的に広報に努める。関連事業として、4月3日午前中は、阪神阪急ホールディングスとの協働によりイベント「なるほど!! 体感 こどもの視点&親子で楽しむウクレレライブ～安心・安全生活を送ろう～」、夜にはCD完成記念の「Ukulele Pop Magic! 勝誠ニウクレレライブ」を実施する。</p>
(2) 管理部門報告	<p>会員は1月末現在、正会員団体 84・個人 5 人、活動会員 397 人、賛助会員 19 口となっている。1月までの収支報告および3月末見込みの会計報告を行った。</p>

(3)RTC 関連報告	<p>収入の部の予算達成見込みは会費 86%、事業収益 60%、助成金 113%、寄付金収入 129%で収入全体では 84%、支出全体では 87%で、単年度収支はマイナスになる見込みである。第 1 事業は当初予定より資格更新研修の実施回数が少なかったこと、CAP スペシャリスト養成講座実施の中止、第 2 事業は一部の基礎講座や新規講座の参加者数の伸び悩みで、今後に向けて広報に課題があるものと考えている。</p> <p>2015 年 2 月現在、活動認定証所有者は 863 人（これまでの総発行数 1,294 人）となっている。更新期限を過ぎ、猶予期間中の方には、更新研修を受けていただくことを連絡しており、今年度から 1 回目の更新研修受講については、より受講の機会を増やすために、CAP スペシャリスト養成講座の 2 日（終日トークタイム研修）の受講での対応も行っている。更新制度ではポイント制度を導入し、CCJ 主催の研修の受講回数によって、高額ポイントを得た方には講座受講費割引（1,000 円×2 枚/人）クーポンをお渡ししている。2014 年度は講座受講割引 47,000 円分をご利用いただいた。</p> <p>ICAP からは、12 月に年末の挨拶メールが届いた（CCJ からも返信済み）。2015 年 2 月 18 日には ICAP Letter（全 RTC に送信）が届き、ドミニカ諸島での CAP プログラムスタートとインターンの紹介があった。CCJ より御礼メールを送ったところ、再び RTC としての活動状況を尋ねるアンケートが送られてきた。日頃より養成講座等の研修を投稿した Facebook には「いいね」を寄せてもらっている。</p> <p>J-CAPTA から、中学生暴力防止プログラムトレーナー養成について連絡をいただいた。3 月 26 日（木）に兵庫県西宮市で RTC 間協力会合を実施することが決定した。中学生暴力防止プログラムトレーナー養成、フィリップモリスジャパン社助成事業（2015 年助成額決定）について検討する予定。</p> <p>エリア内グループとで覚書を交わしていただけていないグループには引き続き、連絡をとり話し合いをしている。</p>
【協議事項・審議事項】	
(1)2015 年度事業計画案	<p>前回理事会にて承認された事業方針に基づき、現在予定している 2015 年度の具体的な事業計画の提案が行われた。</p> <p>〈決議事項〉 現段階での 2015 年度事業計画について、計画分を承認する。総会議案としての事業計画案は次回理事会にて正式に承認を行う。</p>
(2)CAP スペシャリスト養成講座の了解事項改定について	<p>2006 年度より養成講座修了者には 1 年間、活動会員の扱いでサポート（名称：フレッシュャーズサポート）を行ってきたが、了解事項の記載内容がわかりにくいものだった。講座内の説明でも理解されにくいことも多いので、目的とサービス内容を記載したフレッシュャーズサポートの説明用紙を作成し、また了解事項のその部分に関する記載修正を行いたいとの提案があった。</p> <p>〈決議事項〉 CAP スペシャリスト養成講座の了解事項の改定を行う。</p>
(3) 認証規格プロジェクト報告および次年度計画	<p>12 月と 2 月の 2 回プロジェクトを実施し、「指標案 2014」の策定まで進めた。この指標が広く使われていくために、2015 年度はさらに新しい団体や委員にもご参加いただいて、方向性の再確認・「指標案 2015」の作成を行い、試行していくという流れをつくっていききたいとの提案があった。</p> <p>〈決議事項〉 2015 年度の認証規格プロジェクトの活動を承認する。</p>
【その他】	
総会までのロードマップ	資料のとおりスケジュールにて、定時総会の準備を進めることを確認する。
【議事録署名人】	家本理事、江口理事